飛鳥・奈良時代 正誤問題　解答

名前　　月　日　　点

正誤問題（7問）

1　正しいものを1つ選びましょう。　ア

ア　聖徳太子は、家柄によらず能力で役人を登用するため冠位十二階を定めた。

イ　律令制のもとで、九州北部の守りについた兵士を御家人という。
→ 正しくは「防人」

ウ　律令制のもとで、都から地方の国ぐにに地頭が派遣されて政治を行った。
→ 正しくは「国司」

エ　聖徳太子は、役人の心構えを示すために冠位十二階を定めた。
→ 正しくは「十七条の憲法」

2　誤っているものを1つ選びましょう。　ウ

ア　東大寺の正倉院には、聖武天皇の遺品などが納められた。

イ　日本は、遣隋使の国書「日出づる処の天子、書を日没する処の天子にいたす」で、隋と対等な立場で外交を進めることをねらった。

ウ　奈良時代には、日本最古の歴史書として風土記がつくられた。
→ 正しくは「古事記」

エ　中臣鎌足が中大兄皇子とともに大化の改新を進め、のちに藤原姓を与えられた。

3　正しいものを1つ選びましょう。　ア

ア　山上憶良が、農民の苦しい生活を「貧窮問答歌」によんだ。

イ　律令制のもとで九州北部に六波羅探題が置かれ、九州の統治と外交・防衛を担当した。
→ 正しくは「大宰府」

ウ　蘇我馬子が推古天皇の摂政として、天皇中心の国づくりを進めた。
→ 正しくは「聖徳太子」

エ　奈良時代には、天皇から農民まで幅広い人々の歌を集めた和歌集の源氏物語がつくられた。
→ 正しくは「万葉集」

4　誤っているものを1つ選びましょう。　ウ

ア　645年、中大兄皇子と中臣鎌足が蘇我氏をたおし、大化の改新とよばれる政治改革を始めた。

イ　唐の僧の鑑真が何度も遭難しながら来日し、正しい仏教の教えを伝えた。

ウ　聖武天皇は国ごとに国分寺を建て、都の延暦寺には大仏をつくった。
→ 正しくは「東大寺」

エ　正倉院には、断面が三角形の木材を組み上げて壁にする校倉造が見られる。

5　正しいものを1つ選びましょう。　エ

ア　桓武天皇が仏教の力で国を守ろうと、東大寺に大仏をつくらせた。
→ 正しくは「聖武天皇」

イ　聖徳太子は、現存する世界最古の木造建築の寺として知られる平等院を建てた。
→ 正しくは「法隆寺」

ウ　663年、日本は百済を助けて元寇で唐・新羅の連合軍に敗れた。
→ 正しくは「白村江の戦い」

エ　701年、日本の律令政治の基本となる大宝律令が完成した。

6　誤っているものを1つ選びましょう。

イ

ア　聖徳太子は、隋の進んだ文化を学ぶため遣隋使を送った。

イ　743年、新しく開いた土地をずっと自分のものにできると定めた公地公民が出された。
→ 正しくは「墾田永年私財法」

ウ　天智天皇の死後の672年、あとつぎをめぐって壬申の乱が起きた。

エ　710年、唐の長安にならって奈良に平城京がつくられた。

7　正しいものを1つ選びましょう。

イ

ア　607年、阿倍仲麻呂が遣隋使として隋にわたった。
→ 正しくは「小野妹子」

イ　720年に舎人親王らが、国の正式な歴史書である日本書紀をまとめた。

ウ　地租改正によって、戸籍にもとづき人々に口分田が与えられた。
→ 正しくは「班田収授法」

エ　僧の空海が民間で布教し、大仏づくりに協力した。
→ 正しくは「行基」